

大切な信頼を守るために



III 不祥事を根絶する職場にするために！

①風通しのよい職場にしよう！

支え合う 助け合う 注意し合う

○気持ちにゆとりが持てる職員室。

②何でも相談し合い、高め合おう！

気づき 見抜き アドバイス 困惑

アイディア 不安

○管理職や周りの先生が、心の健康状態を把握し、適切に対応しましょう！

③心のバランスを大切にしよう！

- 仕事や家庭の悩みを一人で抱えている職員を職場全体で応援。
- 「自分だけは大丈夫！」「ひとりよがり」は、禁物。

やりがい 生きがい 家族愛 リフレッシュ

人間関係 仕事 健康 家庭の悩み

子どもも、先生も、学び続ける限り、くずれない！

あなたの職場をチェックしてみましょう

- 一人に過重な負担がかかっていませんか？
 - 個々の長所や得意分野が活かされていますか？
 - 力を合わせて課題を解決していく体制ができていますか？
 - 職場に服務規律や指導のルールを守る強い意識がありますか？
 - 一人で行動している職員がいませんか？
 - 誤解を受ける週刊誌等が児童生徒の目にとまるところにありますか？
 - セクハラ相談窓口は校内に周知され、機能していますか？
-

不祥事根絶のための取組事例

- 校内モラルアップ委員会を充実させている。
- ヒヤリハット事例を校内で蓄積している。
- 職員相互の報告・連絡・相談の実施のチェックを徹底している。
- 地域やPTA懇談会から学校の情報を収集し共有している。
- 被害や加害を実感できるロールプレイング研修会を実施している。
- 全職員がネームプレートをつけ、ON/OFF を切り替える意識を高めている。



あれっ ○○先生が出てくる...

「免職」って？

ワイセツ行為とはね...

熱心な先生だったわよ

私はこの先生から何を教わったのかしら...

「教育立県ちば」は信頼が土台

千葉県教育委員会
平成24年6月

I わいせつ・セクハラ行為を防ぐために！

① 複数で対応！

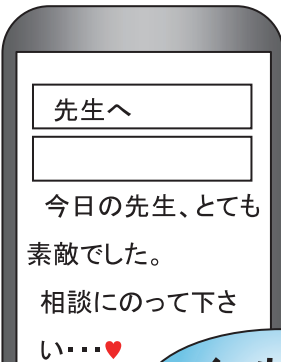


組織的に

一対一だけで解決しない

- チームワークが大切。
- 教育相談は、複数で組織的に対応。
- 多様化する児童生徒や保護者への対応の基本。

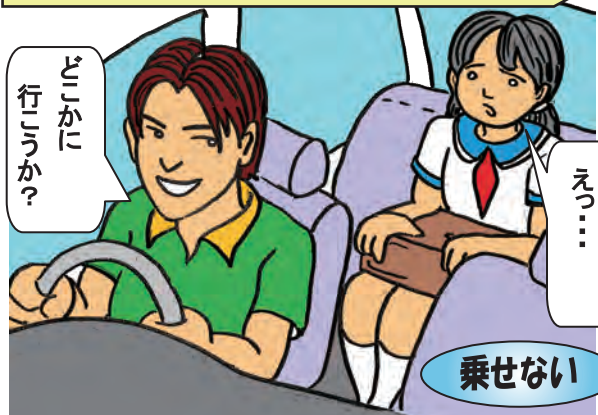
② メールへの徹底！



- メールアドレスの収集は、管理職の了解と保護者の同意が必要。
- 児童生徒への電子メールでの連絡は必要最小限に留め、私的利用厳禁。

メールで相談を受けない

③ 職員の車への同乗禁止！



どこかに行こうか？

乗せない

- 人命にかかわる救急業務等以外、児童生徒を自家用車に乗せることは禁止。
- やむを得ず同乗させる場合は、管理職の了解が必要。

⑤ 報告・連絡・相談(管理職への確認)

<管理職等への報告>

- 事故の予兆をつかんだら、報告が大切。
- わずかな遅れで事態が拡大。

<一対一だけにしないための対策>

- 「〇〇さんと面接してきます。」と他の職員に連絡。
- 指導場所も、配慮が必要。

<校外での指導の原則>

- やむを得ず校外で教育相談を行う場合、管理職の了解が必要。

わいせつ・セクハラ事件が起きた学校では

- 「生徒・職員・関係者に与える影響は計り知れない。」
- 「自分がした行為について、家族や学校がどれほど苦しい思いをするか。大変悔しい思いだ。」
- 「地域の中学校からの信頼回復に5年はかかる。」

④ 誤解を招く行為に注意！



- 発達段階に応じた、距離感が必要。

不祥事

Stop

わいせつ、セクハラ、体罰は、重大な人権侵害です。

II 体罰を防ぐために！(体罰は指導力の欠如です)

こんなときあなたならどうする？



「あんなに指導したのに... なめられてはいけない」
 「見せしめに怖い思いをさせてやろう」
 「怪我をさせなければいいだろう」
 (体罰事件の事例から)

まずは

① 日頃から指導方針を明確に！



- 児童生徒の言動をプロとして予測。
- 発達段階と信頼関係に基づく指導が大切。

② 焦りは禁物！姿勢が大切！



- まずは気持ちを受け止め、かかわりを持つ。
- 「許さない」という毅然とした姿勢を根気強く。
- 言い分に耳をかたむけ、「期待している」という姿勢も。

③ 一人で抱えない！みんなで解決！

家庭や地域とも連携して



あなたのプライベートの時間に落とし穴ありませんか？

- お酒を飲んで... 昨夜のお酒が残っていませんか？
- 誘惑に負けて... どんなときでも、教員には高い倫理観が求められています。
- 調子に乗って... フログ等への不適切な書き込み 学校は個人情報がいっぱい。

あなたの行為は見られています。

- 児童生徒との相性もあり、一人での指導には限界。
- 繰り返し、複数の先生からの指導が最も効果的。

体罰事件が起きた学校では

- 「体罰では、児童生徒の問題行動を根本的に解決できなかった。」
- 「体罰により教員が懲戒処分や指導措置を受けたため、その後の生徒指導が困難になった。」
- 「児童生徒の力による解決への志向を助長させてしまった。」

部活動中の体罰に注意



- 部活動は、人間関係を形成する場。